

Tokai Nabi Project

2023年度 最終報告会
東海大学NABIプロジェクト

2024年2月20日
東海大学NABIプロジェクトリーダー 佐藤 星久



報告内容

1.	活動理念と達成目標	5.	今年度の振り返り
2.	主な活動について	6.	来年度の活動に向けて
3.	活動実績	7.	来年度の代表からひと言
4.	開発アプリのご紹介		



lll[↑]

「学園アニメな日常をあなたへ」

活動概要	東海大学の魅力を学生目線で発信する広報活動
達成目標	すべての学生が悔いのない大学生活を送れること
学びのテーマ	企画力や実行力、広報スキルを身につけること



lll[↑]

私たちの活動について

私たちは、東海大学に所属する学生がより充実したキャンパスライフを送れることを願って、様々な活動を行っています。



- 01 学生広報の活動**
東海大学のサークル団体等を取材されているCAMPUS GRAFFITI様や「TOKAI誌」を作られているJCC様との連携を行いながら学生や職員の記事を行っています。
- 02 学生相談窓口の活動**
LINEのオープンチャットやSNSを活用し、東海大学の学生生活における困りごとや相談を受け付けています。
- 03 新規サービスの開発**
学内アプリをはじめとして、学生相談窓口用のチャットbotやオープンキャンパスで使える「クイズ形式で楽しく東海大学の魅力を学ぶ」アプリなどの開発・運用を行っています。



これまでの活動実績

LINE公式アカウント

- ・新入生約550名が登録

出版社や広報課との連携

- ・CAMPUS GRAFFITIや「TOKA誌」の記事作成

オープンキャンパスとのコラボ

- ・「クイズ形式で楽しく東海大学の魅力を学べる」サイトの開発・運用

ビジネスコンテスト出場

- ・愛知県とSoftbankが開催するビジネスコンテストの最終ピッチに出場

アプリ開発

- ・学内限定のコミュニティアプリの開発

団体向けにアプリの合同説明会

- ・湘南キャンパスで公認団体の約40が参加

lll

友達作りやサークル探しに

掲示板には東海大学の公認団体から非公認団体の活動やイベント情報がカテゴリー別で並んでおり、応募をすることで自動的にグループチャットへ招待される機能が付いています。その他、編集部だけが投稿できるタイムラインやカレンダー機能、相互フォローで個人チャットができる機能が付いています。



lll

lll[↑]

提供できる価値



広報の負担軽減

インスタやエックスのように日々の投稿でフォローを増やすという負担をなくすることができます。



勧誘活動のサポート

いつでもどこでも応募ができるからこそ、新入生の参加を促しやすくなります。



学生の選択肢を増やす

友達作りやサークル探し、空きコマの暇つぶしなどで悩む学生がいつでもどこでも使えます。

*

今年度の課題

課題1：独自コンテンツの少なさ

- ・立ち上げたばかりの団体だからこその輪が定まっていなかった。

課題2：マネジメント不足

- ・メンバーが増えたことによりマネジメント不足が目立った。

課題3：書類等の提出漏れ

- ・報告書や企画書提出漏れ、集約の期日を認識などが多発してしまっった。



lll

来年度の活動に向けて



代表の交代

- ・チームのマネジメントやSACとの連絡業務を強化



独自コンテンツの強化

- ・学内アプリを起点に学生や職員に対する取材を増し基盤を創る



ブランド化

- ・東海大学NABIプロジェクトという団体の認知度を広げていく



最後に
2024年度の代表から一言

